

## 明和附属中学校(音楽コース)Q&A②

No.	項目	質問	回答
10	学校生活	在学中に外部の公演のオーディションなどを受けて出演するのは可能ですか。	学校での活動との両立において、負担がかかりすぎないか十分に検討したうえで、ご判断ください。
11	学校生活	学校で過ごす間、自分の楽器を置いておける鍵付きのロッカーのようなものはありますか。	現在、検討をしております。
12	学校生活	中学音楽コースで就く専科の先生は6年間お世話になることになりますか。	6年間継続した学びができる学習環境を整えられるよう、今後も検討をします。
13	学校生活	音楽ホールができましたら、芸文等の外部のホールでの演奏活動は無くなりますか。	外部ホールでの演奏活動等は、今後も検討をします。
14	教育課程	義務教育で年間の授業数が決められている中で、音楽コースの勉強をどう入れていくのですか。	文部科学省が定める標準授業時数から各学年音楽の授業時間を以下のように増加します。中1年+2.2時間、中2・3年+3時間増加します。
15	教育内容	管打楽器は他の専攻より成熟が遅いので中学受験からでは不利ということはないですか。	発達段階を考慮した上で、検査を行います。
16	進路	将来的には音大を目指さないといけないのでしょうか。中高の6年間で好きな音楽の勉強を普通科に比べてより多くしたいだけなのですが。	中学校では、音楽家としての基礎力を養う専門的な学びとリベラルーツの視点を生かした学びに取り組み、高校での音楽の専門家を育成するための専門技術につなげて、中高6年間を通して、個々の才能を最大限に伸ばし、現代社会とのつながりを意識できるアーティストを育成します。
17	進学	中学、高校の6年間の間に転科(ピアノ→声楽など)は出来ますか。	状況によっては、個別に対応することを検討します。中高6年間の継続した学びの中で、力を伸ばしていくことを目指します。
18	入学者選抜	音楽コースの受験内容を詳しく教えてください。また、試験日は普通コースと同一日ですか。	実技検査(新曲視唱、聴音、専攻別実技)、面接、適性検査となります。また、試験日は同一日になります。
19	入学者選抜	実技試験はどのようなものですか。	専攻別実技の課題曲等、新曲視唱、聴音、適性検査のサンプル問題を県HPに掲載しています。そちらを参照してください。
20	入学者選抜	ピアノ、弦、声楽、管打楽器、作曲とそれぞれ定員が分かれていますか。	楽器ごとに定員分けは行いません。
21	入学者選抜	高校受験からでは定員は今まで減ることになりますか。	高等学校の定員は、今後も検討してまいります。
22	入学者選抜	音楽コンクールの入賞歴は加味しますか。	実技検査(新曲視唱、聴音、専攻別実技)、面接、適性検査の結果を総合的に判断します。
23	入学者選抜	一般的に6年生だと、男女差が強く出ると思います。6年間の将来性などは、受験のとき、どのように判断しますか。	入学者選抜において男女の枠は設けません。実技検査(新曲視唱、聴音、専攻別実技)、面接、適性検査の結果を総合的に判断します。
24	入学者選抜	弦楽器の実技試験の際、伴奏者は各自用意するのですか。	弦楽器の演奏は無伴奏で行います。詳しくは県HPの、明和高等学校附属中学校音楽コースの入学者選抜における「実技検査(選考別実技)」の課題曲等について、を参照してください。
25	入学者選抜	音楽コースの入試では、点数の配分は専攻実技の割合が高いでしょうか。また、専攻実技を審査するのは、どのような審査員で構成されますか。	実技検査(新曲視唱、聴音、専攻別実技)、面接、適性検査の結果を総合的に判断します。また、その他の内容等については来年度に公表する予定の「入学者選抜実施要項」で確認してください。なお、お答えできない内容もございますのでご了承ください。